

わくわく倶楽部

江口グループ

第172号

令和3年11月発行



自らの可動域を広げるためにやるべきこと

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

皆 さん、こんにちは！ 江口グループわくわく倶楽部 ニュースレターを読んで頂きありがとうございます。今年は50冊本を読むと目標にしていたのですが、まだ35冊。残り2ヶ月で目標達成しようと読書頑張りたいなと思っています。最近読んだ本の一冊、明治大学教授の齋藤孝さん「可動域を広げよ」という本を読みました。人生を充実させるためのヒントのようなことが書かれていましたので、ご紹介したいなと思います。

「ど うも日本人は視野が狭い」などと自嘲気味に語られることがあります。閉鎖的だとか、島国根性だとか、遊び心が足りないとか、要するに頭が硬くて可動域が狭い、というわけです。でも、本当にそうなのでしょうか。私はむしろ、日本人は意外に可動域が広い民族ではないかと思っています。極東の島国だからこそ、日本は海外の動向にも敏感に反応し、いいものを旺盛に柔軟に取り入れてきました。それを象徴するのは食文化です。世界中のあらゆる料理を、しかもかなり高いレベルで食べられる国は、おそらく日本以外にないでしょう。それはひとえに、各国の食文化を貪欲に吸収し続けた結果です。単に輸入しただけではありません。例えばカレーにしてもラーメンにしても、独自のアレンジを加え、無数のバリエーションを生み出し続けています。それは作り手の感度の高さだけに由来しません。

消費者である私たちの旺盛な食欲、新しいメニューに対する好奇心、よりおいしいものを食べるためなら時間もお金も惜しまないという求道ぶりも、相当なものだと思います。おいしいと評判の店には、ズラリと行列ができることも珍しくありません。並んで待つ苦痛を厭わず、むしろそんな姿を自撮りしてインスタに投稿し、美しい思い出に換えるような逞しさがあります。つまり食の可動域は、作り手側と消費者側が呼応しながら、現在進行形で拡大しているわけです。そういうDNAを持っていることを、私たちはもっと誇っていいし、最大限に活用しなければもったいない気がします。「大きく生まれ変わろう」と提案しているではありません。「本来の自分を取り戻せばいいだけ」なのです。そう考えれば、気楽にチャレンジできると思います。

最後にもう一つ、可動域を広げるためのとっておきの方法をご紹介します。やはり食文化に絡む話ですが、最低でも年に一回、「ふぐ」を食べてみてはいかがでしょうか。坂口安吾の小作品『ラムネ氏のこと』の中に、ふぐに言及

した一節があります。周知のとおり、ふぐには毒があります。それを今日の私たちが安全に食べられるのは、これまでに多くの無名の人々がいろいろな食べ方をして、危険な部分と安全な部分を解明しつつ絶命していったからである、というわけです。こういう人々こそ、真の勇者だと思います。私たちはリスペクトすべきでしょう。ふぐを食べるたびに、ぜひその格闘の歴史に思いを馳せていただきたい。そして現在の自分と比較して欲しい。別に命を賭けなくてもいいのですが、「自分は何かにチャレンジしているか」と問いかけてみると、ふぐの美味も手伝って「もう少しがんばってみようか」という気になれるはずですよ。

人生は「偶然の出会い」が「必然の出会い」に変わっていくプロセスの繰り返しです。それをいかに楽しむかが、「人生100年時代」を充実させる秘訣だと思います。「可動域」という言葉も、これまであまり目にするのはなかったかもしれません。だとすれば、本書を手にとっていただいたこと自体、「偶然の出会い」の一つです。これをきっかけに新たな出会いが次々と生まれ、気づいたときにはずいぶん可動域が広がり、「この本との出会いは必然だった」と思っただけだとすれば、著者としてこれ以上の喜びはありません。

齋 藤孝さんは、可動域を広げる最も効率的な方法が「読書」だと書いています。そもそも本は、今までとは違う見方や考え方が書かれているからこそ売れるのだそうです。世間によく知られていることばかり書いてあったら、誰も買う人はいないからです。それはつまり、本を読むことで自分の思考の可動域が広がるということです。知識が広がり、見方が変わり、視野が広がると、世界観や価値観、もっというなら人生観まで変わります。読書は未知との遭遇でもあります。つまり、「偶然との出会い」ということです。それは、「好ましい偶然を引き寄せる」という、クランボルツ教授のいう「ブランド・ハップンスタンス(計画的偶発性)理論」に似ています。好ましい偶然を引き寄せるには、とりあえず与えられたことはランダムに何でもやってみることであり、そこには好奇心や面白がるという資質も必要です。年齢を重ねれば重ねるほど、体の柔軟性がなくなり、考え方の可動域も狭くなってしまいます。そのために必要になってくるのが、読書です。いい本に出会い自らの可動域を広げ、人間性を高めたいなと思います。

4代目の江口グループ現場だより

江口組社長とCHIKACO姉さんが ドボクのラジオに出演しました!

社 長とCHIKACO姉さんが出演した「ドボクのラジオ」。ドボクの魅力を伝えようと土木に携わる方が出演するラジオです。10月20日と27日にそれぞれ放送されました。もう放送されたのですが、「本当に出演したんだな」まだ信じられないくらいです。(笑) それもそうです、これまでドボクのラジオに出演された方々を見ると、大学の先生だったり、土木界の偉い人だったり、こないだはNHKのプロデューサーさんも出演されていました。「その中で小松市の小さい町の小さい建設会社の社長が出ちゃったんだ〜」って今でも信じられません。でも、自分たちは土木に対する想いだけは一人前のものを持っていると自負していますので、そういうことをお話させてもらいました。

も し、聴き逃した方がいましたらご安心ください! 番組アーカイブがありますので、ぜひドボクのラジオホームページから聞いてもらえたらと思います! 「ドボクのラジオ」で検索してみてください、よろしくお願いします。



第125回 2021.10.20放送
「地域建設業の役割」

第126回 2021.10.27放送
「ママがテレビに出て!」

身近なインフラについて専門家が熱く語るバラエティ番組
ドボクのラジオ
中央エフエム | 水曜20時(再放送:日曜12時)

協賛: JSCE 土木学会 Japan Society of Civil Engineers, CTI 建設技術研究所, 清水建設, 三井住友建設, 理工図書株式会社 (土木技術社・建設情報局・VJコア放送)

スマートフォンの無料アプリ「ListenRadio」でお聴きください

アーカイブで聴けます

会社みんなで安宅の海を キレイにできました!

10 月の秋晴れの気持ちいい土曜日の朝に安宅海岸の江口グループボランティア活動を行いました! 海岸やサイクリングロードを社員みんなで1時間ほどゴミ拾いをしました。ペットボトルや空き缶、タバコの吸い殻やいろんなゴミがたくさん落ちていました。かなりの大物もあったようで、1時間で2トンプにいっぱいゴミが集まりました。こんなにもゴミが落ちているのを見るととても残念な気持ちになってしまいます。ゴミ拾いボランティア活動は大切だと思いますが、それ以上にゴミを川や海に捨てないこと! これが大切です! ゴミ拾いのボランティア活動をしなくてもいいようになったらと思います。



このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式Facebookページ

www.facebook.com/eguchigumi/



(株)江口組公式Twitter

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)／

プロカメラマンさんによる 江口グループ社員の写真撮影大会!

江 口組では新しい採用活動用のパンフレットを作成中です。10月にはパンフレット用の写真を撮影するため、プロのカメラマンさんに来てもらい写真撮影大会を行いました。朝の8時半から始まった撮影は社内の仕事風景からスタートし、現場を周り、夕方に行ったオンライン会議の様子まで夕方18時まで、約10時間の撮影となりました。撮影中はほとんど休憩する間もなくの撮影で盛りだくさんの撮影となりました。

そ して、撮影した写真をちょっと見せてもらいましたが、とてもいい写真ばかりで最高の仕上がりのできるパンフレットになりそうです。やっぱりプロのカメラマンさんは違いますね～! パンフレットの仕上がり益々楽しみになりました!



撮影の様子



CHIKACO姉さんと
夢大くん

社内の様子



江口組のSNS発信についてインタビューを受けました。 これからも、皆さん江口組のSNSをよろしくお願いします!

皆 さんこんにちは! 総務部の村木絵里香です。先日、新しいパンフレットのインタビューがあり、私はCHIKACO姉さんと一緒に江口組のSNSの取り組みについてお話しをしました。

インタビューをしてくれた方が江口組のSNSをたくさんチェックしてくださっていて驚きと同時に嬉しくなりました(^^)

江 口組は、Twitter・Instagram・Facebook・YouTube・TikTok・ブログと様々なSNSで発信を行っています。

江口組の活動内容や現場の進捗情報など、土木の魅力を伝えるため、江口組を多くの方に知ってもらうために日々投稿を頑張っています。

毎回多くの方が見て下さっていてとても嬉しいです! ありがとうございます。

これからも発信を頑張っていきますので皆様もチェックをよろしくお願いします!



インタビューを受ける
専務と工事部・睦地さん



同じくインタビューを受ける
工事部・森中さんと新谷さん

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!



スタッフ通信

工務部
浦 直之



LOTTE
雪見だいふく

子供の頃から大好き
です♡

浦



こんにちは。
秋も深まり温かいものが恋しい季節になりました。
今月のテーマは【こたつに入ってでも
食べたい好きなアイス】です。



工務部
酒井 基樹



雪見だいふく

冷たくてふにふにな
モチとバニラアイスの
相性がとても良い！
おいしくてサイコーです



工務部
池田 雅弘



ピノですね
1口サイズで食べやすい。
6ヶ月前物足りないと思いますか？
それがちょうど良いのでは。



工務部
山根 勝敏



チョコモカジャンボ

（私もど）コレばかりです。
※たまに
Pino かな？

工務部 山根



工務部
森中 勇樹



パピコのチョココーヒータ味が1番
おいしいです



工務部
小山 南海子



白くま

1つでいろいろな食べ方
が楽しめるので好きです。
こやま



総務部
村木 絵里香



PARM(パルム)が
好きです！
最近 はうじ茶ラテ味が
発売したと聞いたので
はやく食べたいです♡



お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、
ご意見・ご感想などがございましたら
ご連絡下さい！



発行元 **EGUCHI**
江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目6番地
TEL.0761-24-1311代
eguchigumi@eguchi-group.co.jp